

広報 五所川原市

発行 五所川原市
〒037
青森県五所川原市字岩木町12
☎0173-2111(代)
編集 総務部秘書企画課
印刷 ㈱西北印刷

市の人口 52,224人 (男25,188人・女27,036人) 世帯数14,631 (3月31日現在)

(毎月2回 1日・15日発行)



黄色い安全帽をプレゼント

小学校の入学式が行われた四月八日、小学校、児童館、保育園(所)に入った二、〇一五人に黄色い安全帽を贈りました。また、交通安全協会からカレンダー、交通安全母の会からマスク、ット人形、安田火災海上グループからはワッペンが、それぞれ贈られました。

火災を防ぎましょう

4月、5月は火災の発生しやすい月です。このため4月7日、消防本部、消防署及び消防団による消防車27台の防火パレードを行い、市全域にわたって市民に「火災予防」を呼びかけました。



交通事故防止の呼びかけ

春の全国交通安全運動が始まった4月6日、警察署、交通安全協会、交通指導隊や市などによる交通安全の街頭指導が行われ、道行く人々にチラシなどで交通事故防止を呼びかけました。

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和60年

No.590

5-1

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

毎号とじこんでください。後できっとお役に立ちます。

すくやかたに 子どもたち

5月5日は
「こどもの日」

「五月五日は「こどもの日」。
そして、第二日曜日の十
二日は「母の日」です。
これらの日にちなんで、

社会性を育てる子ども会

現在の子ども達は、生活
が個別化されることが多く、
一人一人が別々の活動をする
ようになってしまい、み

子ども会、母と子のきずな
にスポットを当ててみまし
よう。

他人への思いやりや人
の言葉を尊重する気持も薄
く、自己本位の傾向があり
ます。

んなで一緒にあって楽しむ
ことが非常に少なくなつて
います。そのため連帯感や
社会性がなかなか育ちませ

子どもの生活を個別化し
ていると思われる原因の一
つにテレビがあります。も
う一つの原因としては塾通
いがあります。この傾向は、
都会だけでなく農村でも同
じであり、今や全国共通の

「子ども会って何だ。と
よく聞かれる。聞いている
方も子ども会ってどんな集
まりか、何をしているのか

い、それが組織として動き
出してから早や二十年をは
るかに超えてしまった。今、
この二十年を振り返ってみ
ると、その時自分が立つて

だのではなかった。大人は
誰でも同じ……。今の子ど
もとは違った時代背景の上
に立っていたとはいえ、同
じ道をたどって来たのだけ
ら彼等は決して他人ではな
い。親子であり、兄妹であ
り、友達であることには絶
対に間違いはない。



野呂基助さん

子ども会を育てよう

子どもの健全育成
を進めるために

いた場所と今とは、異なる
ものだと思われて仕方がな
い。

その当時は、青少年健全
育成などという難しい言
葉の下で、子ども達と遊ん

先輩であるということをは
らすにして、共々手をつない
で行こうではありませんか。
と青森県子ども会育成
連合会長の野呂基助さんは、
このように語っています。

現象となっております。この
ようなことは、子どもにと
つて決して幸せなこととは
言えません。

子ども達は、家庭と学校、
それに社会を舞台として生
活しています。このうち、
子どもの本領が一番発揮さ
れるのは社会です。学校で
は、先生の前だからという
ことがあって、子どもが自
己抑制している面もありま
す。

子ども達は、近所の子ど
も同士で遊び、ケンカした
り、泣いたり笑ったりを繰
り返す中で健全に育ってい
くのだと思います。そこで
は、子どもの自主性や主体
性も育くまれます。

現在、子どもを非行へ
走らせるような環境が多く、
遊び場も少ないのが実情で
す。

このようなとき、子ども
が伸び伸びと育つためにも
子ども会のような、社会を
舞台とする活動に参加する
ことが大切になってきてい
ます。

本市には、現在五十五の
子ども会と、これらの連合
組織である市子ども会育成
団体連合会があり、いろい
ろな活動をしています。
子ども会への加入や子ど

も会の結成など、詳しいこ
とは同連合会事務局長の岡
田芳道さん(市内蓮沼)へお問
い合わせください。

里親制度

この子達に愛の灯を

いろいろな理由で保護者がいない児童、保護者に
養育されることができない児童等、家庭に恵まれな
いこの子達を児童福祉法にもとづき個人の家庭にあ
ずけて、親と子の関係を中心に家庭での養育をはか
り、児童の健全な育成を行おうとするものです。

長期里親

①児童が満十八歳になるまで、又は保護者が児童を
ひきとるまで養育する。

②家庭に子どもがいなくて、将来児童と養子縁組を
希望する。

短期里親

保護者が病気、ケガ、拘禁のため一時的に児童
を養育することが困難な場合、児童をおおむね一
か月から一か年間養育する。

▽里親となる手続き

児童相談所へ申し込みますと県の児童福祉審議
会で審査をし、里親として登録されます。

▽里親になった場合

①里子の養育方法等について、児童相談所から児童
福祉司が訪問して相談を行います。

②里子の養育費は、基準にもとづき県から支給され
ます。

③里子が病気、ケガ等で通院した場合、その費用は
無料になります。

里親になれる資格や申し込み等、お問い合わせ
は県前児童相談所(弘前市西城北一丁目三三七
☎〇一七二一)32五四八番)又は市福祉事務所(☎
35二二二番 内線二四三番)へどうぞ。

愛の献血250人が協力!!

七和地区



献血に協力する七和地区の人達

七和地区で四月九日、本市としては今年度初の採血が行われ、二五〇人が献血に協力しました。

これは、五所川原市赤十字奉仕団七和分団(堀内きみ子分団長)が奉仕活動の一環として行ったもので、会員二二〇人のほか地区住民も積極的に協力しました。同地区ではコミュニティハウス原子前、七和農協前、高野文化センター前の三カ所で行われ、特に七和農協前の採血には、昼休み時間とあって近くの七和農協や七和電子の従業員も献血に協力。

同分団では、献血に協力

してくれた人を車で送迎するほか、献血を済ませた人には「献血そば」を配るなど、心のこもった応対をしていました。

堀内分団長は、「今年度は、献血のほか結核検診、救急法、家庭看護法などにも力を入りたい」と語っていました。

本市の献血実績は、積極的にPRにもかかわらず、目標に対して毎年五十パーセントを割っているのが実態なことから、今回の七和地区の大口の協力により今年度は好調な採血スタートとなりました。

病院火災を想定

消防総合訓練を実施

春の火災予防運動二日目の四月九日、一日婦人消防官の委嘱と病院火災を想定した消防総合訓練が行われました。

一日婦人消防官に委嘱されたのは、市内の事業所に勤務する川村千鶴子さん、小坂克子さん、佐藤真由美さん、川浪智恵美さん、三浦小百合さんの五人。

五所川原地区消防事務組合の黒石健作消防長から委嘱状を交付された五人は、消防行政について簡単な説明を受けた後、消防本部職員とともにデパートの査察

や救急法の実技訓練などの取り組みを行いました。

また、白生会 胃腸病院では、病院火災を想定した消防総合訓練が行われました。

訓練には、五所川原消防署からハシゴ車や救急車も出動。地下ボイラー室から出火したという想定で、負傷者のハシゴ車による救助や救助隊による救助、救急隊による負傷者の搬送などの訓練が手際よく行われたほか、同病院の職員を対象に消火器の使い方の訓練も実施されました。

最後に、黒石消防長が「



はしご車による救助訓練

一人が防火意識に徹して、火災を出さないよう十分注意してください」と訓示を述べ訓練を終わりました。この日、一日婦人消防官となった三浦小百合さんら五人は、この「本番」さながらの訓練を頼もしいげにじっと見守っていました。



一日婦人消防官の辞令交付を受ける三浦さん達

暴力団で困っている方は相談を!!

県警では、「暴力団の壊滅」を重点目標に掲げ、全力を挙げてこれに取り組みんでいます。また、五所川原警察署でも市民の皆さんや各機関・団体等のご協力を得て、あらゆる法律を適用し、暴

力団の資金源断絶のためポーカーゲーム機などの取締り、暴力団員の逮捕等に全力投球を続けています。資金源を断たれた暴力団は、最近シヨウ開催などの名目で券を売りつけているとの情報もありますが、断固として断る勇氣が必要です。

警察は、暴力団壊滅のため、今後も全力を挙げて取り組みますので、暴力団の被害にかかっている方やお困りの方がいましたら、お気軽にご相談ください。

県警本部捜査第二課(☎
〇一七七一七三二二〇番)
五所川原警察署(☎35
二四一四番)

春の「行政相談」週間

5月12日～18日



エンジニアをめざして

職業訓練短期 大学校入学式 八十九人入学

津軽地域唯一の工科系大
学である青森職業訓練短期
大学校で四月十一日、第二
期生八十九人の入学式が行
われました。

この日入学したのは生産
機械科二十一入、金属成形
科十八入、電子科三十入、
建築設備科二十人の計八十
九人で、昨年より二十二入
の増。

入学式は、辻茂校長が「知
・徳・体のバランスのとれ
たエンジニアをめざしてく
ださい」と式辞を述べ、雇
用促進事業団の森英良職業
訓練担当理事があいさつ。

山田選副知事の祝辞の後、
引き続き森田稔夫市長が
「我が国産業の発展はもと
より、西北五地域の振興、

発展のためにも期待してい
ます」とお祝の言葉を述べ
ました。最後に入学生を代
表して電子科の工藤敏行さ
んが、「学生の自分を自覚し
て勉学に励みます」と力強
く宣誓して式を終りました。

同短大は全国十番目、東
北では宮城に続いて二番目
で、昨年四月に開校した雇
用促進事業団が設置した実
践技術者の養成校。特に本
市は、青森地域テクノポリ
ス計画の中心地となるばか
りでなく、七里長浜港の後
背地として、さらに漆川工
業団地がスタートしている
などから、同校には地域振
興の中核として大きな期待
を寄せています。



祝辞を述べる森田市長

入学式は、副島清治院長
が「常に新しい気持ちで、
奉仕の精神を忘れず勉学に
励んでください」と式辞を
述べた後、森田稔夫市長が
「人間愛にたつ医療の確立
をめざし、尊い生命の存続
に奉仕できる人になってく
ださい」とあいさつ。桜庭

市立高等看護学院の本年
度入学式が四月十三日、看
護婦(士)をめざす三十七
人の入学生を迎えて行われ
ました。

高等看護学院でも入学式

広次五所川原保健所長、寺
田義雄市議会議長の祝辞に
引き続き、上級生代表の齋
藤千恵子さんが「目標を見
失わず励みあつて頑張りま
しょう」と歓迎の言葉を述
べました。最後に、入学生
を代表して今加津子さんが
「博愛の精神を忘れず、誰
からも信頼される看護婦を
めざして頑張ります」と宣
誓して式を終りました。

の場に、秀れた教師陣を擁
し、学理と実習を組織的、
一体的に行うことができる
西北地方唯一の施設で、入
学生は今後三年間、国家試
験合格をめざし学びます。



あいさつを述べる森田市長

地方税法の一部改正

本年度の市税の改正点をお知らせします。

▶個人市民税

- 1. 配偶者及び扶養控除額の適用要件である所得限度額(給与所得等)を30万円から33万円に引き上げた。
- 2. 事業専従者控除限度額を40万円から45万円に引き上げた。
- 3. 均等割の税率を1,500円から2,000円に引き上げた。

▶固定資産税及び都市計画税

土地の評価替えに伴う税負担の増加を緩和するため、昭和59年度の課税標準額に対する上昇率の区分に応じ、次のとおり負担調整措置を講じた。

区 分	上 昇 率	負担調整率
宅 地 等	1.3倍以下のもの	1.1
	1.3倍を超え、1.5倍以下	1.15
	1.5倍を超え、1.7倍以下	1.2
	1.7倍を超え、1.9倍以下	1.25
	1.9倍を超えるもの	1.3
農 地	1.15倍以下のもの	1.05
	1.15倍を超え、1.3倍以下	1.1
	1.3倍を超え、1.5倍以下	1.15
	1.5倍を超えるもの	1.2

▶特別土地保有税

昭和57年3月31日以前に取得された土地で、保有期間10年を超えるものは課税対象外とした。

▶国民健康保険税

- 1. 課税限度額を31万円から35万円に引き上げた。
- 2. 低所得者に対する減額の基本額を19万円から19万5千円に引き上げた。

河川や公園をきれいに!!

雪解けとともに
河川や公園等、い
たる所に空カン、
ビニール、紙くず
などが目につくよ
うになりました。

私たちの公共施
設を快適に利用す
るため、次の運動
にご協力をお願い
します。

- 町内会、協会、
クラブ等組織ぐ
るみの清掃
- ごみは指定され
た場所以外には絶対に捨
てない。

○車から空カン、タバコの
吸いガラ等のポイ捨ては
やらない。

ごみ収集用のビニール袋
などについてのお問い合わせは、市の衛生課(☎05二
一―一番 内線二六九番)
又は都市建設課(内線 二
二五番)へどうぞ



農家の皆さんへ

昭和60年度の農業日雇賃金及び耕耘機等機械賃借料の標準額が決まりましたので、お知らせします。

▷農業日雇賃金

田畑別	作業別	男女別		60年度標準額	
		男	女	男	女
水田	田 植	1日当り賄なし		4,000円	4,000円
	稲 刈	〃		4,000円	4,000円
	脱 穀 調 整	〃		4,000円	4,000円
畑	りんご剪定(特技者を除く)	1日当り賄なし		5,100円	
	りんご 授 粉	〃		3,800円	3,800円
	りんご 摘 果	〃		3,800円	3,800円
	りんご 袋 掛	1日 当 り		4,000円	
	りんご 取 穫	1日当り賄なし		3,600円	3,600円
	薬 剤 散 布 作 業	〃		3,600円	3,600円
	一 般 農 作 業	〃		3,600円	3,600円

▷耕耘機等賃借料

機械別	作 業 別	60年度標準額	
耕 ト ラ ク タ ー 機	田 打 砕 き	10 a 当 り	4,900円
	畑 打 砕 き	〃	4,900円
	田 荒 しろかき	10 a 当 り (2回)	3,900円
	田 植 しろかき	〃	3,900円
	耕起よりしろかき	10 a 当 り	13,000円
	バインダー	系持 10 a 当 り	8,800円
ハーベスター	人付 10 a 当 り	5,800円	
コ ン バ イ ン	〃		16,000円
			17,000円 (結束刈り)
			10,000円 (麦)
田 植 機	〃	4,900円	
オペレーター賃金		1日 当 り	6,500円

なお、これについてのお問い合わせは市農業委員会事務局（☎352111番 内線230番）へお願いします。

テレビ・防災キャンペーン

青森放送（RAB）毎週木曜日10：45～10：50			
放送日	ご存じですか 一防災ミニ百科一		
5 / 2	火災篇	科学万博と防災	
5 / 9	〃	避難ノトンネル火災	
5 / 16	〃	避難ノアパート火災	
5 / 23	〃	通報ノ119番	
5 / 30	〃	なぜ大切か初期消火	

お問い合わせください。
 一五七二二三三五一番）へ
 際青少年研修協会（☎〇三
 詳しくは、財団法人 国
 五月二十五日（土）
 ▼応募締切

▼応募方法 指定された申
 し込み用紙に必要事項を
 記入して本会まで提出
 ④ 指定する事前・事後研
 修に出席できるもの

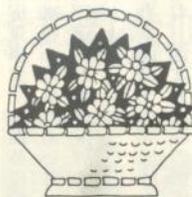
③ 研修に耐える健康な身
 体で、常識と礼儀を備
 え、明朗で健全な精神
 の持ち主であること
 ② 事業の趣旨・目的をよ
 く理解し、計画に従っ
 て規律ある行動及び団
 体生活ができること

▼対象 中学生、高校生
 ▼応募資格
 ① 日本国籍を有すること

この事業は、我国と諸外
 国との青少年の交流を促進
 し、共同生活・共通体験を
 通じて、相互の交友関係を
 深めるとともに青少年の国
 際性のかん養に資すること
 をねらいとするものです。

二十一世紀を担う青年
 を育てる

青少年の海外派遣
 参加者募集



おいらせ

みんなの健康教室へどうぞ

医師会と家庭を結ぶ「みんなの健康教室」が次の日
 程で開かれます。お気軽においでください。

- ▷日時 5月24日（金） 午後1時
- ▷場所 市保健センター
- ▷テーマ 「良い医師良い患者とは」
- ▷講師 田辺靖彦先生
- ▷主催 北五医師会 五所川原市民保健協議会

青年海外協力隊員募集

協力隊はアジア・アフリカ・中近東・中南米・南大
 平洋の開発途上にある国々に対して、経済・社会の発
 展のために技術・技能を身につけた心身ともに健全な
 日本の青年を派遣して、各国の国づくりに協力してい
 ます。

- ▷資格 満20歳以上、原則として35歳までの日本の青
 年男女
 - ▷願書締切 昭和60年5月31日（当日消印有効）
 - ▷選考試験 第1次選考（作文・英語・技術の筆記試
 験）、第2次試験（面接試験、健康診断書に基づ
 く問診及び精査等）
 - ▷派遣期間 2年間
 - ▷応募方法 協力隊所定の願書を期日までに事務局
 へ提出してください。
- なお詳しくは、国際協力事業団 青年海外協力隊事
 務局（☎03-400-7261番）へ問い合わせるか又は、次
 の募集説明会場へお願いします。

月 日	時 間	会 場
5月9日(木)	18：00～20：00	青森市文化会館（堤町）
5月10日(金)	18：00～20：00	弘前文化センター（下白銀町）
5月14日(火)	18：00～20：00	十和田市中央公民館
5月15日(水)	18：00～20：00	八戸商工会館

計量器(はかり)の定期検査

商店、農業経営者などで計量器を使用している方は、年1回の定期検査を必ず受けてください。

▷注意すること

- ① 検査当日は、通知書(はがき)、印鑑、検査料(台手動はかり1,750円、棒はかり、直線目盛はかり100円)をご持参ください。
- ② 検査を受けないはかりは、使用することができません。
- ③ 通知書記載の期日に検査を受けられない方は、他の場所でも受けられます。
- ④ 期間中に検査を受けないと県計量検定所(青森市)で受検しなければなりません。

期 日	時 間	場 所
5月27日(月)	10:30~12:00まで 13:00~15:00まで	市役所毘沙門支所 コミュニティセンター飯詰
5月28日(火)	10:00~15:00まで	市農協三好支所
5月29日(水)	10:00~11:30まで 13:00~15:00まで	コミュニティセンター中川 津軽中央農協吹畑支所
5月30日(木)	10:00~11:30まで 13:00~14:00まで	市農協栄支所 市役所梅沢支所
5月31日(金)	10:00~11:30まで 13:00~14:00まで	コミュニティセンター長橋 コミュニティセンター七和
6月10日(月)	10:00~15:30まで	中央集会所 (上平井町旧郵便局跡)
6月11日(火)	10:00~15:30まで	〃
6月12日(水)	10:00~15:30まで	市民文化会館
6月13日(木)	10:00~15:00まで	〃

野鳥の村開村

「自然観察会」へどうぞ

- ▷日 時 5月12日(日)
- ▷会 場 飯詰味噌ヶ沢「野鳥の村(家)」
- ▷講 師 日本野鳥の会会員、津軽植物の会会員
- ▷会 費 無料(ただし、バス利用の方は、バス代として500円)
- ▷申し込み 5月7日までに市教育委員会社会教育課(☎35-2111番 内線250番)へ

▷その他

- ① 市民文化会館前から午前9時(中央小学校前午前9時10分)にバスが出ます。
- ② 直接会場へ集合される方は、午前9時30分までにお願ひします。
- ③ 昼食、筆記用具、手帳(野帳)、帽子、長靴(コースに水たまりがある)をご持参ください。
- ④ 雨天の場合は「野鳥の家」で実施します。
- ⑤ 観察は、野鳥と野草に別れて同時に行いますので、どちらか一方に参加することになります。
- ⑥ お申し込みの際、「バス利用の有無」と「観察種目」をお知らせください。

▷主 催 市教育委員会

※「野鳥の家」は、9月30日まで開放しますので、学校、団体、家族等で自然観察、レクリエーションの場にご利用ください。

年金住宅融資

第一回申込み受付

厚生年金保険、船員保険の被保険者を対象とします。

▷受付期間 五月一日~六月二十八日

▷融資対象 住宅の新築・購入・改良等

▷融資額 三三〇万円から最高一千万円。所要資金の八割以内

▷利率 一般住宅 年利率六・〇%

大型住宅 年利率 六・八%又は七・二%

▷返済期間 十年から三十五年まで(半年賦元金均等返済方式で毎月返済)

詳しくは、県保険課(☎〇一七七②二一一番)又は県厚生年金勤労者住宅協会(☎〇一七七③二〇七七番)へどうぞ

災害復興住宅資金

融資の申込み受付

昭和五十八年の日本海中部地震で被害を受けた方に対し、住宅金融公庫では「災害復興住宅資金(建設・補修)」の融資を行っておりますが、この融資の申し込み受付が五月二十五日(土)で締め切りとなります。借入れを希望される方は、早めにお申し込みください。

なお、詳しくは、借入れ条件や手続きについては最寄りの金融機関へ、建設に関することについては土木事務所建築指導課へ御相談ください。



「建築確認制度について」

建物を新築又は増改築する場合、建築主は建築確認申請書の提出を、また工事施行者は、工事現場の見や

る)である旨の表示をする(ことが、建築基準法により義務づけられています。建築確認について詳しい

すい場所に確認済(建築工事に着手する前に、その計画が建築基準法に適合するかどうか県知事から任命された建築主事の確認を受け

ことは、市建築住宅室(☎35-2111番 内線2411番)又は五所川原土木事務所(☎34-2111番 内線282-283番)へ

二等陸・海・空士

自衛官募集



▷受付期間 受け付けは、年間を通じて行っております。

▷応募資格 日本国籍を有し、採用予定日の一日現在十八歳以上、二十五歳未満の男子。

▷試験期日及び場所 受付時にお知らせします。

▷待遇その他 採用の日をもって、二等陸士、二等海士、二等空士に任命されます。

▷問い合わせ先 青森地方連絡部五所川原募集事務所(☎35-2130五番)

受講生募集 ふるってご応募ください

くらしと趣味の教室

- ▷ **受講資格** 満15歳以上30歳未満の方で、市内に住所または勤務先を有する勤労青少年であること。
- ▷ **受講料** 無料(ただし、材料費のみは受講者負担となります)。
- ▷ **申し込み締切** 5月18日(土)
- ▷ **受講期間** 前期5月21日～7月25日
後期9月24日～12月9日
- ▷ **受講時間** 午後6時30分～午後8時30分まで
- ▷ **開講式** 5月21日 午後6時
- ▷ **問い合わせ・申し込み先**
市勤労青少年ホーム (☎343602番)

▷ 募集人員

曜日	教室名	人員	回数	内容
月	組ひも	10人	10回	各種基本から完成まで
火	紙ねんど工作	10人	10回	人形基本から完成まで
	料理芸道	15人	10回	和・洋・中華など
	陶芸道	12人	10回	焼物の基本
	茶芸道	10人	10回	裏千家 お茶の基本
水	煎茶	10人	10回	方円流
木	レタリング	10人	10回	文字の骨組みと応用
	生け花	10人	10回	小原流
	着物着付	10人	10回	着こなしとポイント

みんなの教室

- 初心者歓迎します。ふるってご応募ください。
- ▷ **対象者** 市内に住んでいる方。ただし、同一教室を2年以上受講することはできません。
- ▷ **教室の種類** 茶道(裏千家)、生花(遠州流か小原流)、料理、作法、洋裁、着付、民謡、ちぎり絵、日本舞踊、コーヒー、書道(東奥書道)、軽スポーツ
- ▷ **申し込み締切** 5月15日(水)
- ▷ **申し込み方法** はがきに希望する教室名、時間(午前10時～12時又は午後1時～3時)、氏名、性別、年齢、住所、電話番号を明記してお申し込みください。
- ▷ **申し込み・問い合わせ先** 市中央公民館(市内鎌谷町117-7 ☎356056)

吹奏楽演奏会

- みなさんのおい出をお待ちしています。
- ▷ **日時** 5月4日(土) 午後6時
(開演午後6時30分)
 - ▷ **場所** 市民文化会館
 - ▷ **入場料** 1人300円
 - ▷ **主催** 五所川原吹奏楽団
 - ▷ **後援** 商工会議所、市

卓球愛好会

会員募集

初心者大歓迎、年齢性別不問

- ▷ **練習場所** 市民体育館
- ▷ **練習日時** 毎週木曜日
午前10時～12時
- ▷ **連絡先** 花田(☎35二二八九番 夜間)または工藤(☎34四二五〇番 昼間)



サッカー少年部員募集

- ▷ **サツカー** 丈夫な身体とチームワークの大切さを養おう!!
- ▷ **練習期間** 六月～十一月(週二回)
- ▷ **練習場所** 北斗グラウン

川柳

年輪を刻んだ皺に知恵を借り
欠点のある人だから親しめる
地吹雪に耐えた新芽に触れてみる
戦場の傷は自慢も持ち合わせ
遭難の碑に刻まれた哀しい名

川柳岩木吟社提供

まさお
西光
野泣子
山竿
長一郎

「愛の献血」お願いします

日	午前	午後
8(休)	10:00～12:00 日産自動車商會前 (姥菰)	13:30～16:00 マルトモデパート駐車場
17(金)	10:00～11:00 コミュニティ防災センター (鎌谷町)	12:00～16:00 日立東部セミコンダクター(津軽工場) (漆川)
29(休)	10:00～12:00 県合同庁舎前駐車場 (栄町)	13:30～16:00 白生会胃腸病院前 (上平井町)

五・六月の

天気予報

▷ **五月** 寒暖の変動が大きいでしょう。津軽地方では晴れの日が多い見込みですが、下北・三八上北地方では肌寒い曇りや雨の日が多い見込みです。月平均の気温は津軽地方は平年並みですが、下北・三八上北地方はやや低く、降水量は平年並の見込みです。

▷ **六月** つゆ入りは平年並みでしょう。しかし、つゆらしくなるのは下旬になってからの見込みです。月平均の気温は平年並、降水量も平年並の見込みです。

※青森県につゆ入りは六月十五日、つゆ明けは七月二十六日の見込みです。(青森地方気象台)



憲法週刊
5月1日～7日